

平成 29 年度 王滝村一般会計・特別会計予算案のすがた

§ 1. 予算編成方針等

我が国の経済は、「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」と報告され、先行きについては、「雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」とされています。

国は、「経済財政運営と改革の基本方針 2016」(「骨太の方針 2016」)で示されたとおり、手を緩めることなく本格的な歳出改革に取り組み、施策の優先順位を洗い直し、予算の中身を大胆に重点化することとしています。一方、地方については、一億総活躍社会を実現する上で緊急度の高い取組みの一つである地方創生の本格展開に向けて、地方創生の深化を実現する施策の推進、地方における地域特性に応じた戦略の推進、多様な地方支援の推進に取り組むこととしています。

村の財政見通しは、平成 28 年度末基金残高は、5 号補正現在で財政調整基金 14 億 8472 万円、公共建築物等保全基金 2 億 5510 万円の見込みです。依存財源である普通交付税は、国の予算は 2.2% (4000 億円) の減となり平成 24 年度に設けられた歳出特別枠の「地域経済基盤強化・雇用等対策費」は前年度の 56% 減の要求となっていますが、村の予算としては交付税歳入見込みを昨年度当初予算と同規模で見込んでいます。交付額ベースで 5 千万円～1 億円の減少を想定し、平成 29 年度予算で交付税の補正は過年度と比較し少額となることの見込まれます。又、東日本大震災にかかる復興・創生のため設けられた緊急防災・減災事業債(交付税措置率 7 割の起債)は、対象となる事業が避難所の空調などにも拡充され、期間も平成 32 年度まで延長されました。これにより、今後予定されている防災無線デジタル化の財源となる見通しです。

予算編成においては、財政健全化のための取組みを維持しつつ、第 4 次長期振興計画の確実な推進、御嶽山噴火災害からの復興を加速、徹底した財源の確保、公共施設等総合管理計画の遵守を基本に、本村が持続発展可能となるよう、未来へ向けた投資を確実に進めていくものとします。

§ 2. 長期振興計画(後期計画)施策別事業

別紙「施策一覧表」参照

§ 3. 村独自施策

村独自のソフト施策予算計上額

※P は事項別明細書のページ、②、⑪、⑫、⑬、⑭番は H29 追記

- ① 交通災害共済掛金助成 (P36、236千円)
- ② 介護職員初任者研修助成[㊦] (P50、60千円)
- ③ 生活援護年金 (P52、144千円)
- ④ 介護保険在宅サービス利用者負担額助成 (P52、360千円)
- ⑤ 人工透析患者等通院費助成金 (P54、40千円)
- ⑥ 障害者自立支援施設等通所費補助金 (P54、10千円)
- ⑦ 心身障害者医療給付金 (P54、240千円) ※2,880千円の内数
- ⑧ 乳幼児医療給付金 (P56、720千円) ※840千円の内数
- ⑨ 保育料の無料化 (1,762千円) ※保育料を徴収した場合の見込額
- ⑩ 肺がんらせんCT検診、前立腺がん検診 (P62、229千円) ※がん健診委託料の内数
- ⑪ 子育て支援講座(講師謝礼) [㊦] (P62、40千円)
- ⑫ 妊婦歯科健診委託料[㊦] (P62、21千円)
- ⑬ 子ども予防接種費(インフル・おたふく) 補助 (P62、91千円) ※187千円の内数
- ⑭ ブックスタート事業 (P62、15千円) ※消耗品費45千円の内数
- ⑮ 有害獣防除補助金 (P66、1,500千円)
- ⑯ 王滝村有害鳥獣被害対策協議会補助金 (P66、997千円)
- ⑰ 有害鳥獣駆除報奨金 (P72、1,015千円)
- ⑱ 有害講習負担金及び担い手育成事業補助金 (P72、641千円)
- ⑲ 児童生徒修学旅行・社会見学バス借上げ、交通費等補助金 (P92、94、835千円)
- ⑳ 生徒部活動消耗品、参加費負担 (P,556千円) ※消耗品、負担金の内数
- 21 児童生徒リフト券補助 (P98、380千円)
- 22 学校給食費の無料化 (P100、3,100千円)

§ 4. 御嶽山安全対策事業及び復興関係経費

- ①村内小規模企業の振興対策(利子補給、預託金) 11,268千円 <P74商工振興費>
- ②県外者向けプレミアム商品券販売事業 11,230千円 <P74、商工振興費>
5千円券を3千円で販売。印刷費、送料、委託料、交付金
- ③木曽観光振興対策協議会負担金 4,608千円 <P76、観光費>
- ④ペットボトル水製造委託 1,097千円 <P74、観光費>
- ⑤登山道整備事業 5,400千円 <P80、道路維持費>
- ⑥御嶽山噴火対策経費 9,788千円 <P86、御嶽山噴火災害対策費>
講師謝礼、規制看板等消耗品、チラシ印刷、遙拝所ゲート等修繕、御嶽山保安監視業務(パトロール員)、田の原避難誘導業務委託、遙拝所防災無線保守、監視カメラCATV使用料、御嶽山火山情報配信料、AED借上げ、田の原パトロール員用プレハブ設置工事、パトロール員用用具等備品、田の原観光センター(避難所)電気料負担金、火山防災協議会負担金
- ⑦慰霊碑建立実行委員会負担金 6,500千円 <P86、御嶽山噴火災害対策費>
- ⑧噴火災害犠牲者追悼式開催事業 2,200千円 <P86、御嶽山噴火災害対策費>

総事業費合計 52,091千円

- 財源内訳 ・ 御嶽山噴火災害対策復興基金（見舞金）繰入6,500千円
 ・ その他特定財源（預託金回収）10,000千円、商品券収入6,000千円、
 山岳環境推進事業県補助金3,300千円、水と緑のふるさと基金繰入金
 2,070千円
 ・ 一般財源24,221千円

§ 5. 平成29年度王滝村一般会計予算案

（単位：千円）

本年度	前年度	比較
1,731,708	1,839,846	▲108,138

1. 一般会計予算案の概要

平成29年度の当初予算案は前年度と比較し1億814万円、率にして5.9%の減少となりました。住宅建設、除雪車や消防車の車輛整備、避難小屋噴石対策などの普通建設事業費が4割程度減少となった事が主な要因です。主な事業は、御嶽山安全対策及び復興事業へ5,209万円、第4次王滝村長期振興計画（後期基本計画）施策関連事業へ4億6578万円（別紙1施策一覧参照）、その他の建築物・道路等の整備修繕へ4,560万円余の計上となりました。また、木曽広域連合ごみ焼却施設建設事業は昨年度に引き続き本体の建築が行なわれ、その負担金8,125万円を計上し、過疎債を充当しています。

地域資源を活用した新しい事業の可能性については、引き続き地域おこし協力隊員と共に進めていきます。又、地域の課題等を点検し、村民と行政とのつながりを一層深めるための「話し合い」や点検をする中で必要と認められた施策（集落対策）を実施するため、“集落支援員”を新たに設置します。それにより、集落対策の一例として地域交通の確保、移住・交流の推進、高齢者見守りなどの課題を取り組みます。

DMO関係は、木曽町と共に4月1日の木曽御嶽観光局（仮称）設立を目標に準備委員会で進めています。5月下旬の地方創生交付金交付決定に向け、3月に地域再生計画を申請、予算措置は4月～6月分の必要とされる観光総合事務所負担金を計上、7月以降分は地方創生交付金を予定しDMO負担金として補正対応する見込みです。

観光施設事業会計補助金は、スキー場の指定管理期間が新たな期間となるため、当初予算では国有地借地料など経常経費のみの計上となっています。

収支状況は、地方交付税は普通交付税を428万円増の7億8,629万円、特別交付税を通常分、地域おこし協力隊分、集落支援員分を含め6,250万円計上しました。普通建設事業費に対しては国庫補助金、過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債、公共建築物等整備保全基金を活用し、御嶽山関係事業の慰霊碑建立実行委員会負担金へ、復興基金の見舞金分を充当しています。以上から、歳出見積額が歳入見積額を上回る形となったため、財政調整基金から8,276万円を繰り入れる予算となりました。

2. 借入金の状況

平成29年度予算では、一般会計で「過疎対策事業債」「緊急防災・減災事業債」「臨時財政対策債」、農業集落排水事業会計で「資本費平準化債」の借入を計上しています。各会計の地方債現在高見込は次のとおりです。

《地方債現在高見込》 ※元金のみ

(単位：千円)

会計区分	前年度末 見込	当年度 新規借入	当年度 償還額	当年度末 見込	比較
一般会計	2,034,552	231,300	181,915	2,083,937	49,385
簡易水道事業費	6,100	0	2,080	4,020	▲2,080
農業集落排水事業費	195,578	7,600	24,255	178,923	▲16,655
合 計	2,236,230	238,900	208,250	2,266,880	30,650

平成29年度一般会計当初予算の内訳

◆歳入予算案

【歳入の款別内訳】

(単位：千円)

款	本年度	前年度	比較	増減率 (%)
村 税	235,665	229,465	6,200	2.7
地 方 譲 与 税	33,567	35,441	▲1,874	▲5.3
利 子 割 交 付 金	109	115	▲6	▲5.2
配 当 割 交 付 金	383	370	13	3.5
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	291	329	▲38	▲11.6
地 方 消 費 税 交 付 金	15,596	15,392	204	1.3
自 動 車 取 得 税 交 付 金	3,850	3,370	480	14.2
地 方 特 例 交 付 金	12	53	▲41	▲77.4
地 方 交 付 税	848,787	836,000	12,787	1.5
分 担 金 及 び 負 担 金	146	2	144	超過
使 用 料 及 び 手 数 料	4,030	4,527	▲497	▲11.0

国庫支出金	83,906	117,421	▲33,515	▲28.5
県支出金	42,738	43,542	▲804	▲1.8
財産収入	22,401	20,614	1,787	8.7
寄付金	2,000	2,000	0	0
繰入金	132,229	191,226	▲58,997	▲30.9
繰越金	10,000	10,000	0	0
諸収入	64,698	74,779	▲10,081	▲13.5
村債	231,300	255,200	▲23,900	▲9.4
歳入合計	1,731,708	1,839,846	▲108,138	▲5.9

【歳入の款項別内訳】

(1) 村税 (P11) (単位：千円)

項	本年度	前年度	比較
村民税	33,502	32,273	1,229
固定資産税	197,351	193,040	4,311
軽自動車税	2,229	2,015	214
たばこ税	2,286	1,857	429
入湯税	297	280	17
計	235,665	229,465	6,200

■特記事項

- ・村民税は、法人の均等割、法人税割それぞれ減額見込みであるが、個人の所得割の増加見込みにより増額
- ・固定資産税は、償却資産の大臣配分の見込みにより増額

■入湯税の用途について

【温泉】王滝の湯、こもれびの湯

区分	充当 事業名	事業費	財 源 内 訳		
			特定 財源	一般財源等	
				入湯税	その他
消防施設	消防施設修繕 費(P84)	648	0	297	351

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設などの整備及び観光振興（観光施設の整備を含む）に要する費用に充てるための目的税として課税されている。

(2) 地方譲与税～地方特例交付金 (P11～) (単位：千円)

項	本年度	前年度	比較
地方譲与税	33,567	35,441	▲1,874
利子割交付金	109	115	▲6

配 当 割 交 付 金	383	370	13
株式譲渡所得割交付金	291	329	▲38
地 方 消 費 税 交 付 金	15,596	15,392	204
自 動 車 取 得 税 交 付 金	3,850	3,370	480
地 方 特 例 交 付 金	12	53	▲41

■特記事項

- ・ 各項共通で地方財政計画と前年度の実績をベースに計上

(3) 地方交付税 (P13)

(単位：千円)

地方交付税の内訳	本年度	前年度	比較
普 通 交 付 税	786,287	782,000	4,287
特 別 交 付 税	62,500	54,000	8,500

■特記事項

- ・ 地方交付税は、特別枠である地域経済雇用対策費、元気創造事業費、人口等特別対策費は減額で試算しているが、交付額ベースで若干の増額となる見込み。
- ・ 特別交付税は、通常ベースに地域おこし協力隊8名分 (32,000千円) と集落支援員3名分 (10,500千円) の計上

(4) 分担金及び負担金 (P13)

(単位：千円)

項	本年度	前年度	比較
負 担 金	146	2	144

■特記事項

- ・ 負担金は、通常保育料の無償化と延長保育料・未就園児保育料の計上。通常保育料を徴収した場合は1,762千円の見込み。

(5) 使用料及び手数料 (P13～)

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較
総 務 使 用 料	420	680	▲260
民 生 使 用 料	750	762	▲12
商 工 使 用 料	571	791	▲220
土 木 使 用 料	1,524	1,524	0
教 育 使 用 料	200	200	0
総 務 手 数 料	528	530	▲2
衛 生 手 数 料	37	40	▲3

■特記事項

- ・ 総務使用料は、田の原観光路線バスの使用料を実績に応じて見込む。
- ・ 商工使用料は、国民体育館の使用料を実績に応じて見込む。

(6) 国庫支出金 (P15～)

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較
民生費国庫負担金	20,637	20,263	374
衛生費国庫負担金	46	45	1
総務費国庫補助金	1,448	1,298	150
民生費国庫補助金	3,351	6,127	▲2,776
衛生費国庫補助金	30	20	10
土木費国庫補助金	57,592	88,750	▲31,158
教育費国庫補助金	100	100	0
委託金	702	818	▲116

■特記事項

- ・民生費国庫補助金は、年金生活者等支援臨時福祉給付金事業補助金の皆減
- ・土木費補助金は、道路整備補助金の減及び除雪車整備補助金の皆減

(7) 県支出金 (P17～)

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較
民生費県負担金	14,055	14,004	51
衛生費県負担金	22	22	0
総務費県補助金	16	16	0
民生費県補助金	2,564	3,322	▲758
衛生費県補助金	3,410	50	3,360
農林水産業費県補助金	1,908	3,967	▲2,059
教育費県補助金	125	125	0
電源立地地域対策交付金	18,471	18,208	263
委託金	2,167	3,828	▲1,661

■特記事項

- ・衛生費県負担金は、登山道整備のため山岳環境整備推進事業補助金が皆増
- ・農林水産業費県補助金は、森林造成事業補助金を皆減で見込む。
- ・委託金は、参議院議員選挙費委託金の皆減

(8) 財産収入 (P19～)

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較
財産運用収入	21,381	20,499	882
財産売却収入	104	104	0

■特記事項

- ・財産運用収入は、住宅家賃収入の増による。

(9) 寄付金 (P21)

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較
総務費寄付金	2,000	2,000	0

■特記事項

- ・水と緑のふるさと基金を見込みで計上

(10) 繰入金 (P21)

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較
財政調整基金繰入金	82,759	91,126	▲8,367
水と緑のふるさと基金繰入金	6,170	2,900	3,270
奨学金基金繰入金	5,700	6,300	▲600
御嶽山噴火災害対策復興基金繰入金	6,500	31,500	▲25,000
公共建築物等整備保全基金	31,100	59,400	▲28,300

■特記事項

- ・水と緑のふるさと基金の増は、登山道整備などへの充当による。
充当事業：森林整備2,500千円、登山道整備2,070千円、小中学校図書購入800千円、小学校グラウンド整地機800千円
- ・復興基金は、県補助分の終了により減。見舞金分から慰霊碑建立実行委員会負担金へ6,500千円充当
- ・公共建築物等整備保全基金の減は、住宅新築の皆減による。
充当事業：中学校校舎屋根・壁塗装工事及び設計監理費 31,100千円

(11) 繰越金 (P21)

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較
繰越金	10,000	10,000	0

(12) 諸収入 (P21～)

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較
延滞金加算金及び過料	10	10	0
村預金利子	20	100	▲80
貸付金元利収入	20,138	20,688	▲550
雑入	44,530	53,981	▲9,451

■特記事項

- ・貸付金元利収入は、奨学金返還金の増（648千円）及び補助事業等つなぎ資金貸付金の減（▲1,198）
- ・雑入は、地域商品券販売入収入（村外）の減（▲4,000千円）、県工事補償料の皆

減（▲2,191千円）、消防団員退職報償金の減（▲1,191千円）、県衛星系防災行政無線更新整備に係る長野県市町村振興協会補助金皆減（▲2,430千円）による。

(13) 村債（P25～）

(単位：千円)

村債の内容	本年度	前年度	比較
総務債	66,000	123,000	▲57,000
民生債	13,800	0	13,800
衛生債	107,500	71,400	36,100
土木債	28,900	52,100	▲23,200
消防債	6,400	0	6,400
教育債	8,700	8,700	0

■特記事項

- ・総務債は、臨財債60,000千円、過疎債ハード6,000千円（緑地公園整備（公園の本体部分）の計上。住宅と県衛星系防災行政無線更新整備が皆減
- ・民生債は、緊急防災・減災事業債（過疎債と同じ交付税措置率）を保健センター空調整備工事へ充当
- ・衛生債は、過疎債ハード（広域ごみ焼却施設整備81,200千円）、過疎債ソフト（診療所運営事業26,300千円）の計上
- ・土木債は、過疎債ハード（村道第41号線改良事業15,400千円、橋梁修繕事業13,500千円）。除雪機械整備分は皆減
- ・消防債は、緊急防災・減災事業債（東緑地公園下部へ40t級防火水槽整備工事）の計上
- ・教育債は、過疎債ソフト事業（ALT事業4,700千円、教員確保対策事業4,000千円）の計上

3. 歳出予算案

【歳出の款別内訳】

(単位：千円)

款	本年度	前年度	比較	増減率(%)
議会費	20,232	19,859	373	1.9
総務費	559,676	621,109	▲61,433	▲9.9
民生費	175,159	153,985	21,174	13.8
衛生費	213,078	174,648	38,430	22.2
労働費	2,385	2,399	▲14	▲0.6
農林水産費	26,335	31,381	▲5,046	▲16.1
商工費	78,292	77,297	995	1.3
土木費	208,668	242,415	▲33,747	▲13.9
消防費	78,004	110,575	▲32,571	▲29.5
教育費	154,033	163,520	▲9,487	▲5.8

公 債 費	194,974	208,134	▲13,160	▲6.3
諸 支 出 金	10,872	24,524	▲13,652	▲55.7
予 備 費	10,000	10,000	0	0
歳 出 合 計	1,731,708	1,839,846	▲108,138	▲5.9

【歳出の性質別内訳】

(単位：千円)

性 質	本年度	前年度	比較	増減率(%)
人 件 費	395,841	387,022	8,819	2.3
物 件 費	334,718	309,130	25,588	8.3
維 持 補 修 費	13,482	7,937	5,545	69.9
扶 助 費	43,260	43,570	▲310	▲0.7
補 助 費 等	349,998	338,258	11,740	3.5
普通建設事業費	255,251	409,666	▲154,415	▲37.7
公 債 費	194,974	208,134	▲13,160	▲6.3
積 立 金	9,443	8,331	1,112	13.3
投資及び出資金	0	0	0	0
貸 付 金	19,514	21,312	▲1,798	▲8.4
繰 出 金	105,227	96,486	8,741	9.1
予 備 費	10,000	10,000	0	0
歳 出 合 計	1,731,708	1,839,846	▲108,138	▲5.4

【歳出予算各款別・事業別内訳】

凡例 ㊦・・・新規事業、㊧・・・拡充事業、㊨・・・前年度当初には無いが過年度に計上がある

1. 議会費 (P27)

①主な事業の内容

- ・議会に関する人件費や一般経費

②前年度増減比較

(単位：千円)

項目	内容	本年度	前年度	比較
議 会 一 般 経 費	人件費 議員6名 議会一般経費	20,232	19,859	373

③特記事項

- ・議員報酬は「特別職報酬等審議会」の答申により増額

2. 総務費

(単位：千円)

項 目	本年度	前年度	比較
1) 総務管理費	535,105	597,973	▲62,868
2) 徴税費	8,812	8,342	470

3) 戸籍住民基本台帳費	11,931	12,356	▲425
4) 選挙費	3,384	1,754	1,630
5) 統計調査費	27	267	▲240
6) 監査委員費	417	417	0

1) 総務管理費 (P27)

(1) 一般管理費

①主な事業の内容

- ・王滝村例規加除委託
- ・王滝村補助事業等つなぎ資金貸付

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
庶務一般経費	事務一般経費	12,788	14,694	▲1,906
特別職人件費	人件費2名分	17,847	16,608	1,239
一般職員人件費	人件費44名分+任期付き職員1名分	331,531	331,295	236

③特記事項

○庶務一般経費

- ・賃金の皆減 (▲2,144千円)
- ・旅費は、総務課、村おこし推進課 (企画、観光) で御嶽山関係、下流域・企業版ふるさと納税関係、イベント関係により増 (3,313千円、1,113千円増)
- ・諸負担金は、農協支所 2F会議室エアコン設置負担金の計上^④ (539千円)
- ・補助事業等つなぎ資金貸付金は、元気づくり支援金事業で公的団体からのつなぎ資金要望の減。2団体貸付要望。(1,814千円、▲1,198千円)

○人件費

- ・特別職2名分及び一般職44名分と任期付き職員1名分の計上。一般職は、退職1名、新規3名、任期付き職員1名の3名増。

(2) 文書広報費 (P31)

①主な事業の内容

- ・広報誌の発行

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
広報一般経費	広報誌年4回発行	400	330	70

(3) 会計管理費 (P31)

①主な事業の内容

- ・村の出納事務

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
会計管理一般経	会計事務	1,851	1,786	65

費				
---	--	--	--	--

(4) 財産管理費 (P31)

①主な事業の内容

- ・庁舎の維持管理
- ・財産の管理（庁舎などの修繕等）
- ・貸付け建物の修繕等
- ・木造住宅耐震診断委託事業
- ・緑地公園整備事業（緑地公園整備及び駐車場造成工事）
- ・村営住宅の管理

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
村有財産庁舎管理経費	村所有施設の管理	45,670	46,608	▲938
村営住宅管理費	住宅の管理経費	1,806	5,324	▲3,518
村営住宅整備事業	村営住宅の建設	0	71,280	▲71,280

③特記事項

○村有財産庁舎管理経費

- ・村有施設維持補修工事は、田の原観光施設消防設備非常電源バッテリー交換 ㊦（1,050千円）
- ・役場庁舎修繕工事は、庁舎消防設備改修工事（500千円）及び役場大会議室エアコン設置㊦（950千円）
- ・村営施設改修工事は、村有施設LED化工事（250千円、▲250千円）
- ・緑地公園整備工事は、東緑地公園の公園本体工事の計上（工事費7,000千円、過疎債6,000千円充当）
- ・村営駐車場造成工事は、東駐車場造成工事（緑地公園周辺）（16,500千円）
- ・村有施設解体・撤去工事村有施設解体（下条住宅）㊦（工事費3,000千円、国庫補助1,350千円充当）などにより全体で23,516千円の増
- ・公有財産購入費の皆減（▲17,930千円）
- ・負担金は、老朽危険家屋撤去補助金で事案が発生した場合に補正対応とすることにより、当初は頭出し計上（1千円、▲999千円）

○村営住宅管理費

- ・上条公営住宅駐車場造成の皆減（▲3,240千円）

○村営住宅整備事業

- ・皆減

(5) 財政調整基金費 (P33)

①主な事業の内容

- ・財政調整基金への積立

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
基金積立金	基金の積立	913	10	903

③特記事項

平成29年度末残高見込額 1,483,422千円

(6) 自治振興費 (P33)

①主な事業の内容

- ・地区へ行政連絡費交付

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
自治振興一般経費	行政連絡員報酬及び行政連絡費交付	2,670	2,656	14

③特記事項

- ・行政連絡費は前年度と同様に管理経費分と均等、世帯割による交付

(7) 防犯対策費 (P35)

①主な事業の内容

- ・防犯灯の修繕等維持管理

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
防犯対策一般経費	・防犯灯の維持管理に関する経費と郡防協負担金	2,397	2,625	▲228

③特記事項

- ・電気料の実績ベースにより減 (1,108千円、▲229千円)
- ・防犯灯LEDの修繕及びマストの修繕 (1,188千円)

(8) 交通安全対策費 (P35)

①主な事業の内容

- ・交通災害共済掛金助成

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
交通安全対策一般経費	・交通安全協会への補助金と交通共済事務	455	534	▲79

③特記事項

- ・交通災害共済掛金の全額を助成し、全村民が加入する。(236千円、▲11千円)

(9) 企画費 (P35)

①主な事業の内容

- 地域情報化整備事業 (総務係)

庁内システム整備管理、CATV関係、統合型GISなどのネットワーク系事務を

扱う。

○総務企画事業（総務係）

交通対策事業

○地方公会計整備事業（財政係）

財務諸表作成支援業務ほか

○企画事業費（地域推進交流係）

- ・総合戦略の評価等実施
- ・ふるさと村民の推進
- ・水と緑のふるさと基金（ふるさと納税関係）
- ・未来世紀へつなぐ緑のバトン事業の実施
- ・絆助成事業の実施
- ・地域おこし協力隊事業
- ・集落支援員事業[㊦]

○温泉福利施設管理経費（福祉係）

- ・王滝温泉の管理

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
地域情報化整備事業	システムに関する経費、PC更新 [㊦] 、CATV番組製作	20,537	14,572	5,965
総務企画事業費	交通対策、木曽広域連合負担金等	38,262	39,161	▲899
地方公会計整備事業	財務諸表作成支援事業、公会計に係るシステム使用料	2,250	1,999	251
企画事業費	村おこし推進課が担当する事業	6,285	10,150	▲3,865
地域おこし協力隊事業	協力隊員8名分の賃金等	34,400	34,300	100
集落支援員事業	集落支援員3名分の賃金等 [㊦]	10,799	0	10,799
温泉福利施設管理経費	王滝温泉の管理経費	2,038	2,020	18

③特記事項

○地域情報化整備事業

- ・情報機器保守料は、前年度の自治体情報セキュリティ強化対策事業（以下、「強靱化事業」という。）により市内インターネット分離や生体認証導入による機器保守が皆増（1,656千円）となったが、前年度の基幹系システムクラウド化によりSDCハウジング経費などが皆減（▲1,737千円）。（2,832千円、▲81

千円)

- ・ライセンス借上料は、強靱化事業により増 (1,736千円、1,102千円増)
- ・基幹系システム接続料は、前年度のクラウド化により接続料を1年分計上のため増 (2,268千円、1,134千円増)
- ・備品購入費は、既存の情報系 P C 50台余は平成21年度と平成23年度の2ヶ年で整備を図った。O S がWin7のためサポートが平成32年1月に終了となる。又、50台のうち、平成21年度整備の P C 30台は、Office2007のため、サポートが平成29年10月に終了となる。更新台数を平準化させ、29年度は20台の更新を図る(○) (2,676千円、2,183千円増)
- ・負担金は、LASDEC負担金の当初計上や強靱化事業による県セキュリティクラウド負担金(○)により皆増 (1,741千円)

○総務企画事業費

- ・巡回バスは前年度と同様の計上
- ・地域振興バス負担金 (17,087千円、▲638千円)
幹線路線バス (木曽福島-王滝間) は前年度と同様の運行<木曽町への負担金>。田の原観光路線バスは、前年度と同様に7/1～10/22の37日間、土日休祭日のみ運行

○地方公会計整備事業

- ・財務諸表の作成支援業務 (1,221千円、87千円増)
- ・固定資産台帳システム及び公共施設管理システム使用料 (1,029千円、164千円増)

○企画事業費

- ・総合戦略検証のため、委員報酬計上 (151千円、増減なし)
- ・弁護士相談料は事案が発生したときに補正対応 (1千円、▲999千円)
- ・村おこしアドバイザーへ募集のあった3名分の旅費計上 (270千円、▲270千円)
- ・防災対策・観光活性化事業委託料は王滝アプリ保守費 (648千円)
- ・平成25年12月からスタートした“ふるさと村民”は現在約308人。管理システム整備費が減、サーバ管理料を計上 (778千円、▲1,620千円)
- ・「緑のボタン」は郡植樹祭と共同開催を予定し、その負担金を諸負担金へ50万円計上 (増減なし)
- ・空き家改修事業補助金は事案が発生した時に補正対応 (1千円、▲999千円)
- ・絆助成事業は3,000千円で計上 (増減なし)

○地域おこし協力隊事業 (34,400千円、100千円増)

- ・地域おこし協力隊員8名分の計上。起業支援分は皆減

○集落支援員事業(○) (10,799千円)

- ・集落支援員とは、地域づくりは村民が主役。行政主導ではない新たな地域づくりを目指し「やらまいかプロジェクト」として総合戦略・後期基本計画の施策展開、事業推進のため集落支援員を設置し、地域の課題等を点検、村

民と行政とのつながりをより一層深めるため「話し合い」を行い、それらを通じて必要と認められた施策（集落対策）を実施する。村民も支援員になることが可能で、1人あたり350万円（ただし専任の場合）までが特別交付税の対象となる。総務省の発表によると、平成27年度現在、支援員の専任者994名、兼任者3096名、3府県238市町村が導入している。集落での話し合いにより様々な課題が想定されるが、事例としては①デマンド交通システムなど地域交通の確保、②都市から地方への移住・交流の推進、③特産品を生かした地域おこし、④農山教育交流、⑤高齢者見守りサービスの実施、⑥伝統文化継承、⑦集落の自主的活動への支援などが想定される。29年度は3名の支援員を予定する。

○温泉福利施設管理経費

- ・安定した経営のため管理運営費負担金の計上（1,500千円、増減なし）

（10）公共建築物等整備保全基金費（P41）

①主な事業の内容

- ・公共建築物等整備保全基金への積立

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
基金積立金	基金の積立	158	0	158

③特記事項

平成29年度末残高見込額 224,711千円

（11）水と緑のふるさと基金費（P41）

①主な事業の内容

- ・水と緑のふるさと基金への積立

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
基金積立金	基金の積立	2,034	2,010	24

③特記事項

平成29年度末残高見込み 合計62,832千円

平成28年度2月末現在高（当年度繰入額控除後） 66,968千円

（内訳）

- ・木曽御嶽山の環境整備に関する事業 24,935千円
- ・森林整備及び水源涵養に関する事業 14,526千円
- ・自然エネルギーの利用促進に関する事業 1,242千円
- ・教育の推進並びに文化の保全及び育成に関する事業 561千円
- ・未指定 25,704千円

（12）御嶽山噴火災害対策・復興基金費（P41）

①主な事業の内容

- ・御嶽山噴火災害対策復興基金へ見舞金と利子の積立（頭出し）

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
基金積立金	基金の積立	14	11	3

③特記事項

- ・ 県補助分の復興基金は前年度で終了。
- ・ 見舞金分の復興基金平成29年度末残高見込額 5,684千円

2) 徴税費

(1) 税務総務費 (P41)

①主な事業の内容

- ・ 長野県地方税滞納整理機構等への負担金

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
税務総務一般経費	税務事務一般	1,233	1,493	▲260

③特記事項

- ・ 電算システム改修費の皆減 (▲637千円)
- ・ 長野県地方税滞納整理機構負担金は、前年度実績割により増 (531千円、382千円増)

(2) 賦課徴税費 (P43)

①主な事業の内容

- ・ 賦課業務
- ・ 固定資産評価事務取扱要領の作成

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
賦課徴税一般経費	賦課処理経費	7,579	6,849	730

③特記事項

- ・ 村税電算処理委託料は、固定資産評価替電算処理委託の皆増 (2,590千円、805千円増)

3) 戸籍住民基本台帳費 (P43)

①主な事業の内容

- ・ 戸籍、住基システム管理

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
戸籍住民基本台帳一般経費	戸籍・住基事務一般、システム保守等	11,931	12,356	▲425

③特記事項

- ・住基システム改修等委託料の減（▲408千円）

4) 選挙費 (P43)

①主な事業の内容

- ・選挙管理委員会の開催（年4回）
- ・本年度の選挙は、村議会議員選挙及び村長選挙

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
選挙管理委員会費	委員報酬等	275	299	▲24
参議院議員選挙費	選挙事務費	0	1,455	皆減
村議会議員選挙費	選挙事務費	1,779	0	皆増
村長選挙費	選挙事務費	1,330	0	皆増

5) 統計調査費 (P45)

①主な事業の内容

- ・毎年行われる経常統計の実施
- ・隔年で行われる周期統計の実施（H29予定なし）

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
経常統計調査費	工業統計、学校基本調査の事務費	27	17	10
周期統計調査費		0	250	皆減

6) 監査委員費 (P47)

①主な事業の内容

- ・例月監査を毎月実施
- ・決算監査を実施

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
監査一般経費	委員報酬等	417	417	0

3. 民生費

(単位：千円)

項 目	本年度	前年度	比較
-----	-----	-----	----

1) 社会福祉費	156,135	137,331	18,804
2) 児童福祉費	18,440	16,236	2,204
3) 国民年金事務取扱費	584	418	166

1) 社会福祉費

(1) 社会福祉総務費 (P47)

①主な事業の内容

- ・村福祉委員会の開催
- ・社会福祉協議会負担金
- ・特別会計繰出（国保事業勘定および後期高齢者医療費事業）
- ・臨時福祉給付金事業

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
社会福祉費一般経費	委員報酬、福祉医療事務、負担金等	14,928	14,575	353
臨時福祉給付金事業	事務費及び給付金	3,186	1,208	1,978
年金生活者支援臨時給付金事業	事務費及び給付金	0	4,704	皆減
特別会計繰出金	国保会計繰出金	9,141	6,858	2,283

③特記事項

- ・社会福祉費一般経費は、要援護者支援システム保守委託料[㊟]計上（260千円）
- ・社会福祉協議会負担金は131千円増の12,612千円
- ・臨時福祉給付金事業は、消費税増税の負担軽減を継続。平成29年4月から平成31年9月までの2年半分を一括給付。低所得者等200人へ1人15000円の給付。事務費等を含め端数を除き全額国庫補助。
- ・年金生活者支援臨時福祉給付金事業の皆減

(2) 老人福祉費 (P49)

①主な事業の内容

- ・「長寿を祝う会」開催
- ・木曽広域連合介護特会、木曽寮の負担
- ・長野県後期高齢者医療広域連合給付費等の負担
- ・高齢者住宅改良促進事業補助金
- ・介護予防事業は、脳元気教室、まめまめ運動教室などの実施、委託により生活支援訪問サービス、いきいきサロン、配食サービス、ふれあい元気づくり教室の実施
- ・高齢者生活支援ハウスの運営
- ・生活援護年金の支給
- ・包括的支援事業（従来分）は、地域支援事業委託により介護教室、介護者リフレッシュ事業、配食サービスの実施

- ・地域生活継続支援事業は、委託により外出支援サービス、心配ごと相談所事業の実施
- ・介護サービス助成事業は、自己負担金の助成
- ・包括的支援事業（充実分）で生活支援体制整備、認知症施策推進事業の実施
- ・後期高齢者医療事業費会計への繰出

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
老人福祉一般経費	食糧費、負担金等	33,108	33,617	▲509
老人福祉総合対策助成事業	木曽広域連合負担金	3,581	3,447	134
介護予防事業	賃金、地域支援事業委託料等	3,168	3,129	39
高齢者生活福祉センター事業	委託料、工事	6,988	2,672	4,316
生活援護年金経費	扶助費	144	144	0
包括的支援事業（従来分）	地域支援事業委託料他	3,917	3,999	▲62
地域生活継続支援事業	委託料	2,003	1,988	15
介護サービス助成事業	扶助費	360	360	0
包括的支援事業（充実分）	地域ケア会議委員報酬、地域支援事業委託料他	9,144	8,908	236
特別会計繰出金	後期高齢者医療費事業費繰出金	4,098	4,250	▲152

③特記事項

○老人福祉一般経費

- ・木曽広域連合介護特会負担金の減（18,114千円、▲623千円）
- ・ヘルパーの底辺拡大のため、介護職員初任者研修助成金の計上Ⓐ（60千円）
- ・高齢者住宅改良促進事業補助金は県補助の関係から当初計上（630千円、増減なし）

○介護予防事業

- ・脳元気教室（認知、閉じこもり予防）、まめまめ運動教室（理学療法士による運動器機能維持）、健康教室（管理栄養士による栄養講座、歯科衛生士による口腔講座）の実施、委託により生活支援訪問サービス、いきいきサロン、配食サービスの実施

○高齢者生活福祉センター事業

- ・夜間及び土日祝日の宿日直委託料（2,668千円、▲4千円）
- ・高齢者支援ハウスは、消防法の改正により平成30年3月までにスプリンクラーの設置義務があるため工事を実施^⑧（4,320千円）

○包括的支援事業（従来分）

- ・委託により介護教室、介護者リフレッシュ事業、配食サービスの実施

○地域生活継続支援事業

- ・委託により外出支援サービス、心配ごと相談の実施

○包括的支援事業（充実分）

- 事業費9,144千円、諸収入（木曽広域連合介護特会から）9,130千円を充当
- ・社会保障充実分により、生活支援体制整備事業として生活支援コーディネーターの配置、要支援者等ニーズ調査、支援者担い手育成などの実施、認知症施策推進事業として相談支援活動の実施、それぞれ地域支援事業として委託する。

（３）障害者福祉一般経費（P53）

①主な事業の内容

- ・障害者就労支援のため清掃を委託
- ・人工透析患者通院費の助成
- ・障害者自立支援施設等通所費の補助
- ・住宅改良促進事業補助金（障害者対象）
- ・心身障害者医療給付金の支給（県補助）
- ・障害者自立支援のための公費負担
- ・障害児通所に要する公費負担

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
障害者福祉一般経費	清掃委託料、負担金及び補助金	1,809	1,895	▲86
障害者医療費給付事業	扶助費	2,880	3,480	▲600
障害者自立支援給付費事業	扶助費等	32,523	31,195	1,328

③特記事項

○障害者福祉一般経費

- ・障害者就労支援の清掃委託業務は、役場週1回、公民館隔週1回の通年、国民体育館はシーズン中隔週1回で清掃委託（370千円）
- ・木曽子どもセンター負担金の利用者割減（137千円、▲83千円）
- ・人工透析患者等通院費助成金は1名増の4名分計上（40千円、10千円増）
- ・障害者住宅改良促進事業補助金は県補助の関係から当初計上（630千円、増減なし）

○障害者医療費給付事業

- ・心身障害者医療給付金は、実績ベースにより減（2,880千円、▲600千円）

○障害者自立支援給付費事業

- ・障害者自立支援給付費は、実績ベース及び訪問入浴[㊟]の増（31,577千円、1,796千円増）
- ・障害児通所給付費は、実績ベースにより減（781千円、▲522千円増）

(4) 保健福祉センター運営経費（P53）

①主な事業の内容

- ・保健福祉センターの運営
- ・公用車の管理

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
施設運営費	施設管理経費	24,213	10,070	14,143
公用車管理経費	公用車経費	944	832	112

③特記事項

- ・保健センターは、災害時に要援護者を優先的に受け入れる施設として位置づけられている。夏場は風通しが悪いため、室温が上昇しデイサービスや健康教室などの利用の際に暑さ対策が懸案となっている。熊本地震で避難所の空調設備が課題となったことで、その対策のため緊急防災・減災事業債の対象事業範囲が空調設備まで拡大されたため、今年度エアコンの整備[㊟]を図る。（工事費14,824千円、緊防債13,800千円充当）

2) 児童福祉費

(1) 児童福祉総務費（P55）

①主な事業の内容

- ・ファミリーサポートセンターの設置[㊟]
- ・乳幼児医療費の給付

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
児童福祉総務費	扶助費等	1,028	1,214	▲186

③特記事項

- ・子育て会議委員報酬[㊟]（94千円）
- ・保険料の計上（ファミリーサポート協力会員と子ども分）[㊟]（45千円）
- ・乳幼児医療給付金は実績ベースにより減（840千円、▲216千円）

(2) 児童措置費（P55）

①主な事業の内容

- ・児童手当の支給

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
児童手当	扶助費	6,180	6,750	▲570
子育て世帯臨時特例給付金	交付金	0	217	▲217

③特記事項

- ・児童手当は対象者の見込み数減による。
- ・子育て世帯臨時特例給付金事業は皆減

(3) 母子福祉費 (P55)

①主な事業の内容

- ・母子父子家庭等医療費の給付

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
母子医療費給付事業	扶助費	120	276	▲156

③特記事項

- ・医療費給付金は、実績ベースにより減

(4) 保育園費 (P55)

①主な事業の内容

- ・保育園の運営。園児8人、うち未就園児は最大で3人の予定(見込みを含める)

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
保育園一般経費	保育園運営に要する経費	11,112	7,779	3,333

③特記事項

- ・未就園児受入、混合保育補助等のため賃金増㊿ (5,564千円、2,415千円増)
- ・給食材料費は、単価アップと園児数により増 (1,366千円、601千円増)
- ・施設修繕費は、未就園児受入のため浴室修繕㊿ (800千円、581千円増)
- ・保育所改修工事の皆減 (▲832千円)
- ・備品購入費は、書架や未就園児用の電気ストーブ購入等により増 (222千円、200千円増)

3) 国民年金事務取扱費 (P57)

①主な事業の内容

- ・国民年金業務の委託

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
国民年金事務一般経費	委託料、使用料等	584	418	166

③特記事項

- ・届出等の様式統一化対応などのシステム改修委託料[㊦]（166千円）

4. 衛生費

（単位：千円）

項 目	本年度	前年度	比較
1) 保健衛生費	99,939	93,407	6,532
2) 清掃費	113,139	81,241	31,898

1) 保健衛生費

(1) 保健衛生総務費 (P59)

①主な事業の内容

- ・特別会計への繰出（村水、高水、農排会計）
- ・健康の推進
- ・土日祝日夜間の一次救急実施の負担金
- ・公用車の管理

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
特別会計繰出金	繰出金	56,997	43,482	13,515
保健衛生一般経費	報酬、分担金等	2,483	2,824	▲341
公用車管理経費	公用車管理経費	769	339	430

③特記事項

- ・繰出金は、村水、高水、農排会計で施設修繕費の増などによる。
- ・保健衛生一般経費は、木曽広域連合分担金（一次救急分）の減による。
- ・公用車管理費経費は、保健車輛更新（リース）により皆増（540千円）

(2) 予防費 (P59)

①主な事業の内容

- ・各種検診事業の実施
- ・予防接種の実施
- ・人間ドック、予防接種、がん検診の受診費用の助成
- ・子育て支援講座開催[㊦]
- ・妊婦乳児検診の実施
- ・乳幼児予防接種の実施
- ・乳幼児予防接種費用の助成
- ・養育医療費の給付

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
保健事業費	検診・予防接種委託	4,958	4,750	208

	料、補助金等			
母子保健事業費	検診・予防接種委託料、補助金等	2,314	2,277	37

③特記事項

○保健事業費

- ・一般健康健診、がん検診、骨密度測定、検診・予防接種費用の助成は昨年度と同程度を計上。
- ・各種健診勧奨チラシ、健康相談・健康教室チラシ等の印刷費増（241千円、166千円増）
- ・人間ドック助成は、前年度と同額計上（400千円）

○母子保健事業費

- ・親が子どもの成長発達の理解を深め、育ちに応じた関わりや、子育てをとおして親として成長していく機会として心理士による子育て支援講座の開催（講師謝礼）㊦（40千円）
- ・妊婦乳幼児健診、乳幼児予防接種、健診・予防設置費用の助成は前年度と同程度を計上。妊婦歯科健診委託㊦（21千円）

(3) 環境衛生費 (P61)

①主な事業の内容

- ・狂犬病の予防接種

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
環境衛生一般経費	需用費、委託料	55	56	▲1

(4) 診療所費 (P63)

①主な事業の内容

- ・診療所の運営

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
特別会計繰出金	繰出金	32,363	39,679	▲7,316

③特記事項

- ・繰出金は、レントゲン装置更新の皆減や建物修繕の減による。

2) 清掃費

(1) 清掃総務費 (P63)

①主な事業の内容

- ・公衆トイレの維持管理
- ・木曽広域連合負担金（ごみ焼却処理施設負担金）
- ・公用車の維持管理

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
清掃一般経費	賃金、施設管理経費、木曽広域連合負担金等	112,718	80,538	32,180
公用車管理経費	公用車管理経費	421	703	▲282

③特記事項

- ・工事費は、公衆トイレ修繕工事の皆減（▲1,685千円）
- ・木曽広域連合ごみ焼却処理施設建設工事負担金の増（81,253千円＜過疎債81,200千円充当＞、35,817千円増）
- ・木曽広域連合衛生費分担金は、補修工事などの減額（22,715千円、▲2,371千円）
- ・木曽広域連合衛生費負担金は、生ゴミ処理負担金⑩の皆増（211千円）、現炉解体事業負担金⑩の皆増（820千円）（5,039千円、1,554千円増）
- ・公用車管理経費は車検費用の減

5. 労働費（P63）

①主な事業の内容

- ・木曽勤労者共済会の負担金
- ・労働金庫預託金

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
労働諸費一般経費	負担金、貸付金	2,385	2,399	▲14

6. 農林水産業費

（単位：千円）

項 目	本年度	前年度	比較
1) 農業費	11,146	11,119	27
2) 林業費	15,189	20,262	▲5,073

1) 農業費

(1) 農業委員会費（P65）

①主な事業の内容

- ・農業委員会の開催、農地現況調査の実施
- ・農地台帳システムの保守

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
農業委員会費	報酬10人分、使用料	1,175	925	250

	他			
--	---	--	--	--

③特記事項

- ・農業委員報酬は8名→10名により増（849千円、249千円増）

(2) 農業振興費 (P65)

①主な事業の内容

- ・有害獣防除の補助金
- ・王滝村有害鳥獣被害対策協議会への補助金
- ・農業機械の修繕
- ・王滝かぶ採種
- ・公用車の管理
- ・特別会計（簡易排水事業）繰出

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
特別会計繰出金	繰出金	2,608	2,197	411
農業振興一般経費	機械小修繕費、防除補助金、対策協議会補助金等	4,233	5,113	▲880
農業振興事業費	採種委託料他	406	332	74
公用車管理経費	公用車の維持管理費	391	220	171

③特記事項

○農業振興一般経費

- ・修繕費は、コンバイン修繕^⑨などの増（1,134千円、432千円増）
- ・有害獣防除補助金（1,500千円、▲200千円）
- ・王滝村有害鳥獣被害対策協議会補助金は、前年度実績ベースの計上により減（997千円、▲1,066千円）

○公用車管理経費

- ・公用車管理経費は車検費用の皆増

○特別会計繰出金

- ・簡易排水事業会計繰出金は、汚泥引き抜き料の増と突発の修繕対応のため予備費の増による。

(3) 農地費 (P67)

①主な事業の内容

- ・農業施設の維持補修

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
農地一般経費	工事費他	1,188	1,187	1

③特記事項

- ・農業施設維持補修工事は前年度と同額計上（1,080千円）

(4) 不動産登記事務費 (P67)

①主な事業の内容

- ・ 公共嘱託登記の委託
- ・ 地積図データの単年異動分更新

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
不動産登記事務 一般経費	委託料	1,145	1,145	0

2) 林業費**(1) 林業総務費 (P67)**

①主な事業の内容

- ・ 木曽広域連合、町村会負担金

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
林業総務一般経 費	町村会、木曽広域連 合等負担金	153	147	6

③特記事項

- ・ 木曽広域連合負担金（森林保全基金）は、水道量が増えたことによる増（143千円、6千円増）

(2) 林道費 (P69)

①主な事業の内容

- ・ 林道維持補修工事

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
林道一般経費	補修工事、原材料費 等	5,957	4,877	1,080

③特記事項

- ・ 倉越支線の林道草刈り増（5,616千円、1,080千円増）

(3) 村有林経営費 (P69)

①主な事業の内容

- ・ 木曽郡郡植樹祭の開催[㊦]
- ・ 村有林審議会の開催
- ・ 森林ボランティアによる育樹作業
- ・ 森林の整備

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
村有林経営一般	報酬7名分、境界測	5,426	11,394	▲5,968

経費	量委託、造林事業等			
----	-----------	--	--	--

③特記事項

- ・木曽郡郡植樹祭の当番町村。苗木購入費等が皆増⑩（922千円（うち特財200千円））
- ・造林事業は県森林造成事業補助金が皆減となる見込みのため事業費減（3,573千円、▲6,947千円）

(4) 林業振興費（P69）

①主な事業の内容

- ・有害鳥獣駆除報償金
- ・木材加工所の維持に要する費用の負担
- ・有害鳥獣駆除従事者講習会の費用負担及び有害駆除従事者担い手育成事業補助金の交付
- ・森林造成事業間伐補助金の交付

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
林業振興一般経費	有害鳥獣駆除報償金、電気工作物保安委託料、講習会負担金、加工所負担金等	3,375	3,437	▲62

③特記事項

- ・有害鳥獣パトロール隊賃金は、王滝村有害鳥獣被害対策協議会によるパトロールの実施期間が補助金の関係で7月から予定しているため、4月～6月間の一次的対応分の計上（84千円、皆増）
- ・有害鳥獣駆除報償金は前年度と同様に、猿、熊、ニホンジカ、イノシシ、カワウなどに対応（1,015千円、増減なし）
- ・クマ対策員報償金は、クマ出没時に県の対応が出来ない場合、ツキノワグマ対策員へ派遣を依頼する。⑩（85千円）
- ・施設修繕費は、木材加工所レーザー彫刻機レーザー修繕の減（171千円、▲101千円）

(5) 治山費（P71）

前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
治山一般経費	負担金	109	135	▲26

③特記事項

- ・県治山林道協会負担金は事業費割の減（6千円、▲46千円）

(6) 造林木食害対策事業費（P71）

①主な事業の内容

- ・カモシカ捕獲事業の実施

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
造林食害対策事業費	報償金、役務費等	169	272	▲103

③特記事項

- ・カモシカによる食害被害地減少により捕獲頭数減

7. 商工費

(単位：千円)

項 目	本年度	前年度	比較
1) 商工費	78,292	77,297	995

1) 商工費

(1) 商工振興費 (P71)

①主な事業の内容

- ・村内向けプレミアム商品券事業
- ・県外向けプレミアム商品券事業㊤
- ・木曽町商工会負担金
- ・村小規模企業の振興対策（県制度資金保証料補給金及び利子補給金、村小規模企業振興資金保証料補給金及び利子補給金、資金預託金）
- ・新規事業応援補助金

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
商工振興一般経費	印刷費、委託費、負担金・交付金、預託金等	43,863	45,538	▲1,675

③特記事項

- ・村内向けプレミアム商品券（額面1万2千円を1万円で販売）の当初計上。1万円券1300セット、5千円券（5百円綴り）400セット。印刷費（フォログラム無し）641千円、交付金18,000千円（事業費18,641千円、販売収入15,000千円充当、増減なし）
- ・県外向けプレミアム商品券㊤（額面5千円を3千円で販売）。2000セット販売。販売事務を観光総合事務所へ委託（200千円）。商品券発送送料153千円、印刷費（販売促進ポスター等含める。フォログラム有り）877千円、交付金10,000千円（事業費11,230千円、販売収入6,000千円充当）
- ・村小規模企業の振興対策は、噴火による村内事業者への支援として保証料の一部や利子を村が負担し融資を継続して行う。（11,268千円、▲360千円）
- ・新規事業応援補助金㊤は、創業（創業、第二創業・事業拡大）と創業後の課題に対して、商工会・金融機関・村が連携して創業者の初期投資費などに対して支援を行なうもの。1件分の計上（860千円、760千円増、特交対象事業）

(2) 観光費 (P73)

①主な事業の内容

- ・イルミネーション
- ・ペットボトル水製造
- ・観光施設維持補修
- ・木曽観光連盟負担金
- ・観光総合事務所補助金
- ・木曽観光振興対策協議会負担金

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
観光一般経費	宣伝諸費、補助金、負担金等	19,697	12,420	7,277
観光施設管理費	賃金、施設の維持管理費、観光施設維持補修等	14,722	19,329	▲4,607

③特記事項

○観光一般経費

- ・観光宣伝諸費は前年度と同様に計上（2,000千円、増減なし）
- ・イルミネーション設置（540千円、増減なし）
- ・ペットボトル水「銀河の雫」製造委託は2万本から1万本へ本数を減じて計上（1,097千円、▲597千円）
- ・モンベルフレンドエリア年間登録料は、前年度の当初比較では皆増（648千円）
- ・事業負担金は、おんたけ湖ハーフマラソンの負担金計上。前年度の当初比較では皆増（1,352千円）
- ・木曽復興対策協議会負担金は宿泊助成分が増⑩（4,608千円、3,469千円増）
- ・観光総合事務所補助金は、前年度まで需用費へ計上のパンフレット印刷費（700千円）と広告料（1500千円）を事務所の事業として移管し補助金として計上、その他DMO運営開始までの間、人件費、旅費、車輛リース料、保険料の計上（4150千円）（6,350千円、5,050千円増）

○観光施設管理費

- ・賃金は実績ベースにより減（3,430千円、▲525千円）
- ・消耗品は消化器、側溝鋼製蓋、街路灯電球の購入により増（1,132千円、451千円増）
- ・施設修繕は、国民体育館バレーボールコートラインの塗装、銀河村キャンプ場トイレ扉の改修などにより増（1,493千円、364千円）
- ・街路灯点検業務は、電球や点滅器を交換しても点灯しない事案が頻繁あるため、点検と材料支給による交換の委託。⑪（499千円）
- ・工事費は、松原スポーツ公園のトイレ及び器具庫の塗装工事、キャンプ場テングロー補修工事などの計上、国民体育館トイレ水洗化工事、松原グラン

ト枯草対策工事などが皆減（4,483千円、▲4,227千円）

- ・備品購入費は、グランドマスター草取りチェーンマットなどの計上。テント購入などが皆減（323千円、▲1,483千円）

（３）消費者行政推進費（P75）

①主な事業の内容

- ・王滝村消費者の会への補助金

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
消費者行政推進一般経費	補助金	10	10	0

8. 土木費

（単位：千円）

項 目	本年度	前年度	比較
1) 土木管理費	22,435	38,483	▲16,048
2) 道路橋梁費	186,199	203,898	▲17,699
3) 住宅費	34	34	0

1) 土木管理費

（１）土木総務費（P75）

①主な事業の内容

- ・長野県河川協会会費等

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
土木総務一般経費	負担金	194	194	0

（２）自動車費（P75）

①主な事業の内容

- ・村道除雪業務の委託
- ・除雪作業等に必要な職員の免許取得負担金
- ・公用車及び除雪車の管理

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
一般職員人件費	深夜勤務手当・特殊勤務手当	1,490	1,464	26
自動車費一般経費	除雪委託料、負担金等	2,539	2,479	60
建設機械整備事	除雪機械整備	0	13,283	皆減

業費				
公用車管理経費	公用車、除雪車の公用車管理経費	18,212	21,063	▲2,851

③特記事項

- ・自動車費一般経費の村道除雪委託は、滝越方面の除雪分を前年度並みで計上（2,097千円、58千円）
- ・建設機械整備事業（除雪車購入）の皆減
- ・公用車管理経費は、公用車車検費用が増（1,839千円増）となったが、消耗品費の減（▲678千円）や巡回バス購入費の皆減（▲3,200千円）により減額となった。

2) 道路橋梁費

(1) 道路橋梁総務費 (P77)

①主な事業の内容

- ・道路台帳の補正業務

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
道路橋梁総務一般経費	道路台帳の補正	2,258	0	皆増

③特記事項

- ・村道第41号線八海山下の道路改良部分台帳補正

(2) 道路維持費 (P77)

①主な事業の内容

- ・村道の維持管理

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
道路維持費一般経費	融雪剤購入費、維持工事費等	100,253	69,888	30,365

③特記事項

- ・測量設計業務委託料は、村道第1号線ダム堰堤付近の法面落石防止対策の調査費㊦（4,000千円）
- ・道路定期点検委託料は、橋梁について5年ごと点検が必要とされ、37橋の点検を予定㊦（15,120千円、国9,330千円充当、9,936千円増）
- ・道路維持管理委託料は、融雪剤散布作業の委託費
- ・道路環境整備工事は、小川橋前後と東（滝旅館から大又橋間）及び白樺峠の支障木伐採㊦により増（20,085千円、4,500千円増）
- ・村道維持補修工事は、村道第41号線白樺峠の防護柵設置などにより増㊦（25,596千円、電源立地対策交付金14,000千円充当、11,772千円増）
- ・登山道整備工㊦（5,400千円、県補助金3,330千円充当、3,240千円増）

- ・村道舗装補修工事は、61号線舗装改良工事（上条消防車庫付近）、41号線舗装改良工事の計上。41号線オーバーレイ工事の減（15,120千円、▲4,320千円）
- ・備品購入費の皆減（▲214千円）
- ・木曽広域連合設計監理分担金の増（1,700千円、1,036千円増）

（２）道路新設改良費（P79）

①主な事業の内容

- ・村道第41号線道路改良事業（八海山下）の継続

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
道路新設改良費	工事費、負担金	43,720	82,764	▲39,044

③特記事項

- ・村道第41号線八海山下の道路改良事業は最終年度のため事業費減

（３）橋梁維持費（P79）

①主な事業の内容

- ・村内橋梁の修繕

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
橋梁維持費一般経費	工事費、負担金等	39,968	51,246	▲11,278

③特記事項

- ・橋梁長寿命化計画に基づき継続で実施。小川橋の橋梁修繕を予定

３）住宅費（P79）

①前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
住宅管理一般経費	公営住宅の共済費	14	14	0
宅地用造成費	特別会計繰出金	20	20	0

９．消防費

（単位：千円）

項 目	本年度	前年度	比較
１）消防費	78,004	110,575	▲32,571

１）消防費**（１）非常備消防費（P81）**

①主な事業の内容

- ・消防団に関すること。

・木曽広域連合消防本部負担金

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
非常備消防費	団員報酬、費用弁償、需用費、負担金等	46,043	50,496	▲4,453

③特記事項

- ・退職者報償金は退職者数の減（922千円、▲1,371千円）
- ・費用弁償は、火防宣伝と年末警戒について実態に見合うよう適用単価の変更により増。ラッパ訓練日数の増（3,404千円、429千円増）
- ・木曽広域連合負担金は消防車更新の皆減などにより減（34,295千円、▲3,732千円）

(2) 消防施設費 (P83)

①主な事業の内容

- ・消防施設の管理
- ・消防車の更新、管理

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
消防施設管理費	消防施設の修繕費、工事費、備品購入費	9,231	2,329	6,902
公用車管理経費	消防車の管理経費	1,183	24,185	▲23,002

③特記事項

- ・消防施設管理費は、東地区緑地公園下部へ防火水槽40t級新設[㊦]（6,980千円、緊防債6,400千円充当）
- ・公用車管理経費は、小川ポンプ車更新の皆減（▲22,680千円）

(3) 災害対策費 (P83)

①主な事業の内容

- ・防災無線（固定・移動系）の維持管理
- ・御嶽山噴火災害対策に関すること

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
災害対策一般経費	防災無線の維持管理費等、印刷費	3,059	10,879	▲7,820
御嶽山噴火対策事業費	避難誘導委託料、借上料、避難小屋改修工事、追悼式負担金等	16,288	22,686	▲6,398

御嶽山噴火災害 犠牲者追悼式開 催事業	追悼式の開催	2,200	0	皆増
---------------------------	--------	-------	---	----

③特記事項

○災害対策一般経費

- ・賃借料は、過年度整備のＡＥＤが耐用年数を超えているためリースにより6台更新◎（350千円）
- ・負担金は、長野県衛星系防災行政無線更新事業の皆減（▲8,102千円）

○御嶽山噴火対策事業費

- ・保安監視業務委託料は、入山者等の保安監視のため、6月～11月までのパトロール隊（1日2名）費用の計上（4,740千円、皆増）
- ・避難小屋の噴石対策工事皆減により、工事費、輸送費などが減（▲16,265千円）
- ・田の原プレハブ設置工事は、田の原登山道入り口の舗装部分へパトロール員用のプレハブ（リース）を設置◎（314千円）
- ・備品購入費は、パトロール隊員用ジャケット、雨具などの購入（567千円、▲219千円）
- ・慰霊碑建立実行委員会負担金の計上（6,500千円、復興基金（見舞金分）6,500千円充当、皆増）

○御嶽山噴火災害犠牲者追悼式開催事業

- ・王滝村で開催。実行委員会負担金から事業へ予算組替え。（2,200千円、木曽町負担金1,100千円充当、実行委員会負担金と比較して600千円増）

10. 教育費

(単位：千円)

項 目	本年度	前年度	比較
1) 教育総務費	18,055	18,564	▲509
2) 小学校費	84,074	92,615	▲8,541
3) 中学校費	8,793	9,362	▲569
4) 社会教育費	18,341	15,823	2,518
5) 保健体育費	12,746	14,556	▲1,810
6) 奨学金	12,024	12,600	▲576

1) 教育総務費

(1) 教育委員会費 (P87)

①主な事業の内容

- ・教育委員会の運営費

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
-----	-----	-----	-----	----

教育員会一般経費	教育委員報酬（4名分）、負担金等	1, 181	1, 298	▲117
----------	------------------	--------	--------	------

③特記事項

○委員報酬は、委員長報酬の減

(2) 事務局費 (P87)

①主な事業の内容

- ・教育委員会の事務的経費
- ・村誌編纂事業

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
教育総務一般経費	事務経費、負担金	924	879	45
村誌編纂費	編纂委員報酬（6名分）、事務補助賃金、執筆報償費、印刷製本費他	15, 950	16, 385	▲435

③特記事項

- ・村誌編纂事業は歴史編上巻の発行を予定する。

(3) 教育交流センター運営費 (P87)

①前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
施設管理経費	集落排水負担金	0	2	0

2) 小学校費

(1) 学校管理費 (P89)

①主な事業の内容

- ・村雇用教員の確保
- ・小中学校の維持経費
- ・小学生の教育振興

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
小学校管理経費	教員および用務員の賃金・共済費、施設や事務機器の管理に要する経費、工事費等	82, 352	90, 530	▲8, 178
小学校教育振興費	講師謝礼、教科書費、バス借上料、児	1, 722	2, 085	▲363

	童用図書購入費他			
--	----------	--	--	--

③特記事項

○小学校管理経費

- ・村雇用教員確保のため、小学校複式解消2名、中学校専科3名、学習支援2名、スクールカウンセラー（時間）の計上（26,700千円、過疎債ソフト4,000千円充当、3,390千円の増）。児童生徒数は、小学校23人、中学校15人の予定。県の加配分は6月補正で対応する。
- ・修繕費は、遊具点検結果に伴う修繕などの計上。プールタイル修繕等の皆減（648千円、▲1,572千円）
- ・学校修繕は、中学校棟とパソコン教室の屋根壁を塗装する。工事と委託料の計上（31,212千円、▲10,793千円）
- ・備品購入費は、教員用P C 5台及び図書室P C 2台更新、グラント整地作業機（水と緑のふるさと基金充当）などの購入（2,728千円、基金800千円充当、1,428千円増）

○小学校教育振興費

- ・スキー教室は生徒数減による講師の減、報償金の減や消耗品の減（▲320千円）
- ・バス借上げ料は、修学旅行分を補助金へ組替え（215千円、▲557千円）
- ・備品購入費は、図書購入などの増（476千円、244千円増）
- ・校外活動交通費等補助金は、小6修学旅行、小4社会見学のJ R 費用を補助（240千円、皆増※借上料からの組替えのため）

3）中学校費

（1）学校管理費（P91）

①主な事業の内容

- ・学校図書館の管理
- ・中学校の事務経費
- ・中学生の教育振興

②前年度増減比較

（単位：千円）

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
中学校管理経費	図書館司書賃金、事務機器の管理に要する経費等	974	891	▲83
学校支援地域本部事業	実行委員報酬、講師謝礼等	215	185	30
中学校教育振興費	講師謝礼、教科書費、ALT業務委託、	7,604	8,286	▲682

	バス借上料、生徒用 図書購入費			
--	--------------------	--	--	--

③特記事項

○中学校管理経費

- ・P C 関係ウィルス対策ライセンスを小学校管理経費へ統合のため皆減 (▲130 千円)

○中学校教育振興費

- ・講師謝礼は、スキー教室の回数減による (87千円、▲182千円)
- ・A L T 事業は、学校授業の他に観光関係の英語ホームページ作成など地域への参画を図る。(4,752千円、増減なし)
- ・バス借上料は、修学旅行分を補助金へ組替え (230千円、▲487千円)
- ・校外活動交通費等補助金は、中3修学旅行の J R 費用を補助 (180千円、皆増 ※借上料からの組替えのため)

4) 社会教育費

(1) 社会教育総務費 (P93)

①主な事業の内容

- ・社会教育の推進
- ・社会教育指導員の雇用
- ・放課後子ども教室の運営

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
社会教育一般経費	社会教育委員報酬、指導員賃金、放課後子ども教室委託料、負担金等	4,964	4,975	▲11

③特記事項

- ・社会教育指導員の継続 (2,100千円、増減なし)
- ・放課後子ども教室は実績ベースにより減 (1,467千円、▲347千円)

(2) 公民館費 (P95)

①主な事業の内容

- ・村公民館の管理
- ・公民館活動の推進
- ・分館活動の推進

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
公民館管理経費	公民館の管理経費	2,088	3,726	▲1,638
公民館活動費	公民館長報酬、分館	7,182	1,505	5,677

	長主事報酬（12人分）、講師謝礼、消耗品費、負担金等			
--	----------------------------	--	--	--

③特記事項

○公民館管理経費

- ・施設修繕費は、洋間、和室のカーテン取替え、体育館倉庫へカーテン設置を計上し、公民館ステージ幕などの修繕が皆減（516千円、▲1,428千円）

○公民館活動費

- ・公民館長報酬の計上^⑧（4,480千円）
- ・備品購入費は、持出用P Aの更新などにより皆増（1,202千円）

（３）文化財保護費（P95）

①主な事業の内容

- ・文化財の調査、保護を実施

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
文化財保護一般経費	文化財の保護に要する経費	436	759	▲323

③特記事項

- ・運搬費及び賃借料の皆減（▲331千円）

（４）文化施設費（P97）

①主な事業の内容

- ・御嶽山岳歴史文化会館の管理運営
- ・地区集会施設の修繕

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
文化施設管理経費	管理運営経費の計上	3,671	4,458	▲787
集会施設管理一般経費	修繕費	0	400	皆減

③特記事項

- ・御嶽山岳歴史文化会館の郷土食については、ひだみ料理などの郷土食の伝承を公民館活動と交えながら推進するため、管理に要する費用の計上。又、資料館展示内容などについては、総合的に検討を進める。

５）保健体育費**（１）保健体育総務費（P97）**

①主な事業の内容

- ・保健体育の推進
- ・ふれあい運動会の実施

- ・児童生徒リフト券の補助

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
保健体育一般経費	体育指導員報酬、備品購入費、補助金等	2,064	1,820	244

③特記事項

- ・報償金のスポーツ教室講師謝礼は、人数の増と外部講師の単価見直しにより増（300千円、156千円増）
- ・消耗品は、小学生社会体育活動消耗品が皆増（214千円）。樽ころがしの樽修繕皆減（▲60千円）（607千円、141千円）
- ・児童生徒リフト券補助は実数により減（380千円、▲60千円）

(2) 体育施設費 (P97)

①主な事業の内容

- ・マレットゴルフ場の管理
- ・スキー学校の村民利用負担

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
保健体育施設一般経費	管理経費、負担金	1,069	1,081	▲12

③特記事項

- ・消耗品、燃料費の減

(3) 学校給食費 (P97)

①主な事業の内容

- ・学校給食の実施

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
学校給食一般経費	給食作業賃金、学校給食補助金等	9,613	11,655	▲2,042

③特記事項

- ・小修繕費の皆減（▲677千円）
- ・備品購入費は、保存冷蔵庫などを計上し、炊飯設備などが皆減（479千円、▲1,167千円）

6) 奨学金 (P99)

①主な事業の内容

- ・奨学金の貸付け

②前年度増減比較

(単位：千円)

事業名	内 容	本年度	前年度	比較
-----	-----	-----	-----	----

奨学金	奨学金の貸付け	12,024	12,600	▲576
-----	---------	--------	--------	------

③特記事項

- ・新規貸付け5人（1,920千円、▲1,020千円）
- ・継続貸付け9人（3,780千円、420千円増）
- ・返還金繰出金は、大口の返済が見込まれるため増（6,324千円、648千円増）
- ・元資繰出金は、貸付金より返還金が多いため皆減（▲624千円）
- ・平成29年度末奨学金基金残高見込額 1,846千円

1 1. 公債費（P97）

（単位：千円）

項 目	本年度	前年度	比較
元金償還金	181,915	191,610	▲9,695
利子償還金	13,049	16,514	▲3,465

特記事項

- ・元金は、完済により過疎債H16借入分（▲23,755千円）、補助災害債H18借入分（▲527千円）、退職手当債H18借入分（▲1,680千円）、一般公共事業債H17借入分（▲691千円）などが減少し、元金据え置き期間終了によりH8公有林債（991千円）、H25年度臨財債（4,671千円増）、H24過疎債ハード分（5,500千円増（起前あり））、H25過疎債ソフト分3,550千円増）が増となった。

1 2. 諸支出金（P99）

（単位：千円）

項 目	本年度	前年度	比較
観光施設事業支出金	10,872	21,073	▲13,662

特記事項

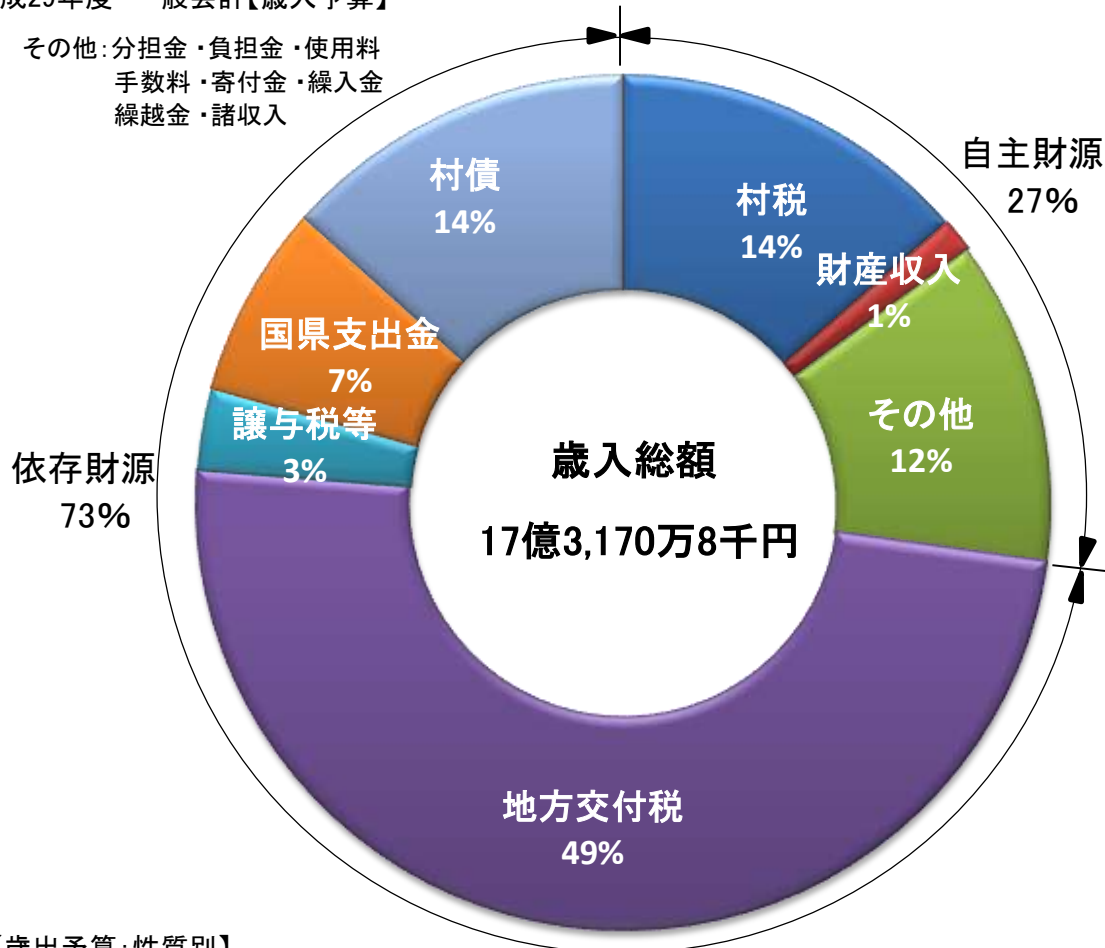
- ・スキー場指定管理期間が終了となるため、当初予算では国有地借地料など経常経費分のみ計上とした。

1 3. 予備費（P101）

前年度と変更なく10,000千円を計上

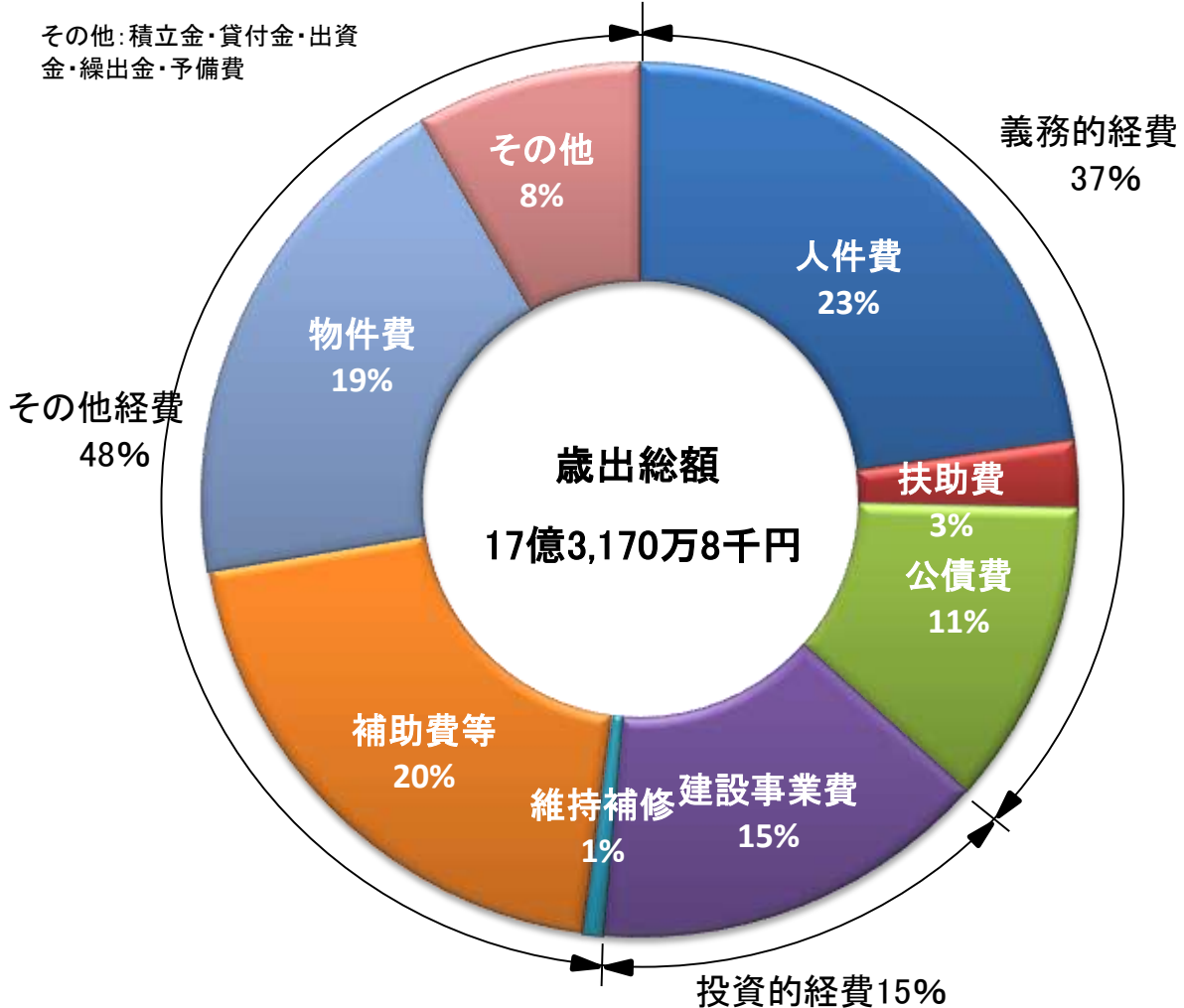
平成29年度 一般会計【歳入予算】

その他:分担金・負担金・使用料
手数料・寄付金・繰入金
繰越金・諸収入



【歳出予算:性質別】

その他:積立金・貸付金・出資
金・繰出金・予備費



§ 6. 特別会計当初予算案

(凡例 ㊦・・・新規事業、㊧・・・拡充事業)

平成29年度王滝村特別会計国民健康保険(事業勘定)**当初予算の内訳**

◆歳入予算案

【歳入の款別内訳】

(単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
国民健康保険税	12,470	12,426	44	0.4
国庫支出金	28,766	27,960	806	2.9
療養給付費交付金	1,532	1,440	92	6.4
前期高齢者交付金	22,384	47,077	▲24,693	▲52.5
県支出金	3,605	2,708	897	33.1
共同事業交付金	28,877	8,700	20,177	231.9
財産収入	23	10	13	130.0
繰入金	9,701	14,984	▲5,283	▲35.3
繰越金	100	100	0	—
諸収入	2	2	0	—
歳入合計	107,460	115,407	▲7,947	▲6.9

■特記事項

- ・国保制度は、現在、市町村それぞれが保険者となって運営しているが、平成 30 年 4 月から県と市町村がともに共同保険者となって運営される仕組みに変更される。県は、市町村ごとの納付金の額の決定、給付に必要な費用の交付などを行ない、市町村は保険証の発行、保険税の賦課・徴収、保険給付などを行なう。国保税率については、県が定める市町村ごとの納付金額が示された段階で国保運営協議会へ諮問する予定。当初予算では、国保支払準備基金が厚生労働省指針の基金基準以上に確保できていることから、税率の変更は行なっていない。
- ・前期高齢者交付金は、平成 27 年度の実績から算出されるため、減額となった。
- ・共同事業交付金は、平成 28 年度の実績から算出される。高額医療が高かったため増額となった。
- ・繰入金は、一般会計からの繰入金は、一般管理費分の法定繰入が 205 万 6 千円増額の 511 万 7 千円、国保支払準備基金からの繰入金は 756 万 6 千円減の 56 万円の計上。平成 29 年度末の基金残高は約 3,364 万円の見込み。

◆歳出予算案

【歳出の款別内訳】

(単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
総 務 費	4,837	2,781	2,056	73.9
保 険 給 付 費	59,249	63,757	▲4,508	▲7.1
後 期 高 齢 者 支 援 金 等	9,302	9,502	▲200	▲2.1
前 期 高 齢 者 納 付 金 等	12	12	0	—
老人保健拠出金	2	2	0	—
介 護 納 付 金	5,000	4,000	1,000	25.0
共 同 事 業 拠 出 金	13,900	19,700	▲5,800	▲29.4
保 健 事 業 費	1,935	1,935	0	—
積 立 金	23	10	13	130.0
諸 支 出 金	13,100	13,608	▲508	▲3.7
予 備 費	100	100	0	—
歳 出 合 計	107,460	115,407	▲7,947	▲6.9

■特記事項

- ・保険給付費の増は、歳入と同様に平成 27 年度実績ベースを元に計算されるため減額
- ・諸支出金は、歳入の国庫支出金でへき地診療所交付金の交付額減により診療施設費への繰出が減

平成29年度王滝村特別会計国民健康保険**診療施設費当初予算の内訳**

◆歳入予算案

【歳入の款別内訳】

(単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
診 療 収 入	33,877	36,108	▲2,231	▲6.2
使用料及び手数料	242	242	0	—
県 支 出 金	0	3,240	▲3,240	皆減
繰 入 金	44,963	52,787	▲7,824	▲14.8
繰 越 金	300	300	0	—
諸 収 入	672	672	0	—
歳 入 合 計	80,054	93,349	▲13,295	▲14.2

■特記事項

- ・診療収入は患者数の推移や現状の収入状況を考慮し見積った結果による。

- ・県支出金は、医療施設等設備整備事業補助金（レントゲン装置更新）の皆減
- ・繰入金は、事業勘定繰入金（へき地診療所交付金分）が 1,260 万円、一般会計繰入金が 731 万 6 千円減の 3,236 万 3 千円の計上。一般会計繰入金は、前年度の医療機器購入の皆減等により減額となった。

◆歳出予算案

【歳出の款別内訳】 (単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
総 務 費	52,311	56,905	▲4,594	▲8.1
医 業 費	27,243	35,944	▲8,701	▲24.2
予 備 費	500	500	0	—
歳 出 合 計	80,054	93,349	▲13,295	▲14.2

■特記事項

○総務費

- ・賃金は内科事務補助賃金、看護師賃金、歯科助手賃金の計上。看護師賃金は、月例給から時給へ変更し 2 名の交代制で計上（5,243 千円、▲923 千円）
- ・歯科医師派遣委託料は前年度と同じく JA からの派遣により、週 2 日の年間 100 日分計上。診察日数により増額（8,000 千円、240 千円）
- ・工事請負費は、玄関改修、駐車場補修、外壁改修工事を予定し、屋根塗装工事、室内間仕切り壁改修等が皆減（2,782 千円、▲5,708 千円）
- ・一般職員人件費は、前年度の補正状況を考慮し時間外と共済費等の増（30,822 千円、2,264 千円増）

○医業費

- ・酸素供給装置借上料は 1 名分の計上（519 千円、▲1,037 千円）
- ・レントゲン装置購入費の皆減（▲7,020 千円）
- ・患者数による医薬品の減（23,873 千円、▲557 千円）

平成29年度王滝村特別会計後期高齢者医療費事業当初予算の内訳

◆歳入予算案

【歳入の款別内訳】 (単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	8,304	7,991	313	3.9
繰 入 金	4,098	4,250	▲152	▲3.6
繰 越 金	1	1	0	—

諸 収 入	50	50	0	—
歳 入 合 計	12,453	12,292	161	1.3

◆歳出予算案

【歳出の款別内訳】 (単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
総 務 費	329	372	▲43	▲11.6
後期高齢者医療広域連合納付金	11,973	11,769	204	1.7
諸 支 出 金	51	51	0	—
予 備 費	100	100	0	—
歳 出 合 計	12,453	12,292	161	1.3

■特記事項

後期高齢者医療費事業については、長野県後期高齢者医療広域連合からの通知による保険料（歳入）及び広域連合納付金（歳出）に、システム保守料と旅費の事務費分を事務費繰入金（歳入）と一般管理費（歳出）として加えた予算案。

平成29年度王滝村特別会計村営水道事業費**当初予算の内訳**

◆歳入予算案

【歳入の款別内訳】 (単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
使用料及び手数料	17,462	17,492	▲30	▲0.2
繰 入 金	16,281	9,766	6,515	66.7
繰 越 金	1	1	0	—
歳 入 合 計	33,744	27,259	6,485	23.8

■特記事項

- ・繰入金は、基金繰入金が皆減（▲1,125千円）、工事費の増などにより一般会計繰入金が7,640千円増。
- ・平成29年度末基金残高は50万円の見込み。

◆歳出予算案

【歳出の款別内訳】 (単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
---	-----	-----	----	-----

経 営 管 理 費	33,244	26,259	6,485	24.7
予 備 費	500	500	0	—
歳 出 合 計	33,744	27,259	6,485	23.8

■特記事項

○一般経費

- ・水道料金システム使用料（428千円）、地方債償還金（2,122千円）などの計上。
- ・水質検査料は、検査項目の減による。（4,397千円、▲253千円）

○一般職員人件費

- ・職員 1 名分の計上（7,974 千円、92 千円増）

○維持管理費

- ・委託料（公共資産）は、九蔵日陰の工事設計費の皆増（1,965 千円）
- ・工事請負費は、通常の修繕費に加え九蔵日陰の水道管入替え工事㊟、尾島減圧槽壁修繕工事㊟の計上。（10,822 千円、4,619 千円増）
- ・量水器取替工事及び購入費は変動なし。（2,135 千円）
- ・備品購入費は、メーターボックス、滅菌器に加え除草機㊟の購入（786 千円、200 千円増）

平成29年度王滝村特別会計おんたけ高原簡易水道事業費

当初予算の内訳

◆歳入予算案

【歳入の款別内訳】

（単位：千円・％）

款	本年度	前年度	比較	増減率
使用料及び手数料	11,753	10,047	1,706	17.0
繰 入 金	15,726	17,582	▲1,856	▲10.6
繰 越 金	1	1	0	—
歳 入 合 計	27,480	27,630	▲150	▲0.5

■特記事項

- ・繰入金は、基金繰入金が皆減（▲3,582 千円）し、工事費の増などにより一般会計繰入金が 1,726 千円増。

◆歳出予算案

【歳出の款別内訳】

（単位：千円・％）

款	本年度	前年度	比較	増減率
経 営 管 理 費	26,980	27,130	▲150	▲0.5
予 備 費	500	500	0	—

歳 出 合 計	27,480	27,630	▲150	▲0.5
---------	--------	--------	------	------

■特記事項

○総務費一般経費

- ・水道料金システム使用料（428千円）などの計上。

○一般職員人件費

- ・職員 1 名分の計上（8,447 千円、48 千円増）

○維持管理一般経費

- ・公用車車検の皆減により、修繕費、保険料、公課費が減（▲188 千円）
- ・水質検査料は、検査項目の減による。（3,140 千円、▲83 千円）
- ・工事請負費は、通常の修繕費と休暇村上の第 2 配水池受水槽壁面補修費^⑨の計上（7,248 千円計上、▲395 千円）
- ・量水器取替工事及び購入費は変動なし。（986 千円）
- ・備品購入費は、メーターボックス、滅菌器に加え除草機^⑨の購入（1,141 千円、350 千円増）

平成29年度王滝村特別会計農業集落排水事業費

当初予算の内訳

◆歳入予算案

【歳入の款別内訳】

(単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
使用料及び手数料	9,920	9,855	65	0.7
繰入金	24,990	20,841	4,149	19.9
繰越金	1	1	0	—
諸収入	0	12,290	▲12,290	皆減
村債	7,600	11,700	▲4,100	▲35.0
歳入合計	42,511	54,687	▲12,176	▲22.3

■特記事項

- ・繰入金は、一般会計繰入金が資本費平準化債の減により増
- ・諸収入は、県道改良工事に伴う下水道施設移設工事補償料の皆減
- ・村債は、資本費平準化債の減価償却相当額の計算方法が、平成 28 年度から変更になったことにより減額。

◆歳出予算案

【歳出の款別内訳】

(単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
農林水産業費	42,011	54,187	▲12,176	▲22.5

予 備 費	500	500	0	—
歳 出 合 計	42,511	54,687	▲12,176	▲22.3

■特記事項

○農業集落排水一般経費

- ・下水道債償還費を計上（27,679 千円。▲603 千円）

○処理施設管理経費

- ・施設修繕費は、王滝地区処理場で自動微細目スクリーン[㊟]の修繕、野口コミセン前ポンプ 2 台入替により増（3,596 千円、594 千円増）
- ・料金システム使用料の計上（428 千円、増減なし）
- ・県道改良工事に伴う移設工事の皆減（設計費▲1,620 千円、工事費▲10,671 千円）

平成29年度王滝村特別会計簡易排水事業費**当初予算の内訳**

◆歳入予算案

【歳入の款別内訳】

(単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
使用料及び手数料	1,423	1,467	▲44	▲3.0
繰 入 金	2,608	2,197	411	18.7
繰 越 金	1	1	0	—
歳 入 合 計	4,032	3,665	367	10.0

■特記事項

- ・繰入金は一般会計からの繰入を計上

◆歳出予算案

【歳出の款別内訳】

(単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
農 林 水 産 業 費	3,532	3,365	167	5.0
予 備 費	500	300	200	66.7
歳 出 合 計	4,032	3,665	367	10.0

■特記事項

- ・汚泥引き抜き手数料の増（655 千円、125 千円増）
- ・7 施設分の保守点検委託料（464 千円、42 千円増）
- ・料金システム使用料の計上（428 千円、増減なし）
- ・予備費は、突発的な故障が増えてきているため増額（500 千円、200 千円増）

平成29年度王滝村特別会計宅地造成分譲事業費**当初予算の内訳****◆歳入歳出予算案**

(単位：千円)

本年度	前年度	比較	増減率
21	21	0	なし

○残り 1 区画。当初予算では事務費のみの計上

§ 7. 王滝村公営企業観光施設事業会計当初予算案**◆予算案**

(単位：千円・%)

款	本年度	前年度	比較	増減率
事業収益	10,873	34,588	▲23,715	▲68.7
事業費用	180,837	205,688	▲24,851	▲12.1

(1) 概要及び収支状況

指定管理期間が終了となるため、当初予算では借地料などの経常経費のみ計上。一般会計からの補助金 1,087 万 2 千円で補填する予算となっている。

(2) 収益的収入及び支出

事業収益の営業収益は、指定管理者が負担する施設敷使用料等が皆減。営業外収益は預金利子 1 千円の計上、特別利益は一般会計補助金 1,087 万 2 千円の計上としている。

事業費用の営業費用は、スキー場管理費で前述により修繕費補助金の皆減、国有地使用料 939 万 5 千円の計上、附帯施設管理費は建物災害共済掛金 47 万 5 千円の計上、減価償却費 1 億 6996 万円余の計上、予備費は、前年度と同様に 100 万円の計上としている。

平成 29 年度 地方消費税引き上げ分の使途について

地方消費税率の引き上げによる増収分（村の予算計上は地方消費税交付金）については、今後も増加が見込まれる「社会保障 4 経費」（制度として確立された年金、医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費）及びその他社会保障施策（社会福祉、社会保険及び保健衛生に関する施策）に要する経費に充てるととされています。

王滝村では、次のとおり充当しています。

平成 29 年度当初予算計上額

【歳入】

地方消費税率引き上げによる地方消費税交付金の増収分 8,000 千円

【歳出】

(単位：千円)

事業名		経費	財源内訳		
			特定財源	一般財源	
(項)	(目)			地方消費税交付金(引き上げ分)	その他
社会福祉費	老人福祉費	66,551	18,613	6,800	41,138
児童福祉費	保育園費	10,758	343	1,200	9,215